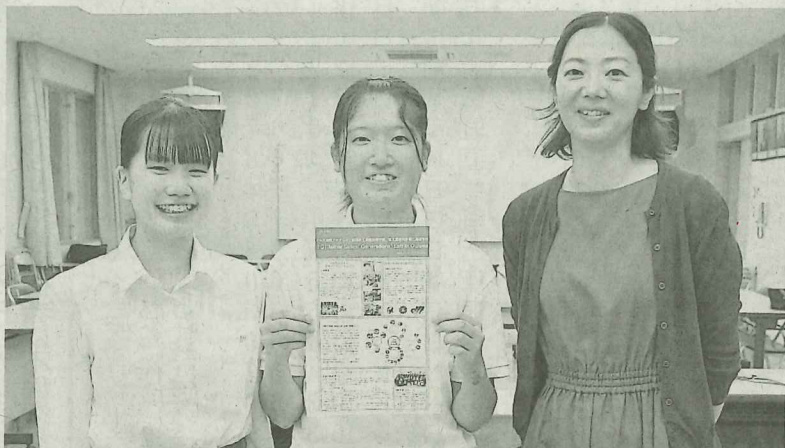


# 3高で議論深めた「群馬の魅力」

## 市立前橋・GKA・東農大二



ボランティアに取り組み高校生が日頃の活動を発表する「高校生ボランティア・アワード2022」(風に立つライオン基金主催、朝日新聞社後援)の全国大会に、県内の三つの高校の合同チームが初めて出場する。特別表彰を目指し、他校の生徒との議論を経て磨き抜いた「群馬の魅力発信の課題」について発表する。

合同チームは、前橋市立前橋高校、ぐんま国際アカデミー(GKA、太田市)、東京農業大学第一高校(高崎市)の3校の生徒で作る。国際協力機構(JICA)東京センター主催のイベントで知り合った3高校

の教諭が意気投合し、高校生主体で地元の魅力発信や課題解決を通してSDGsに貢献しようとするプロジェクトを立ち上げたのがきっかけだ。地方大会は6月から7月にかけてオンラインで行われ、144団体のうち98団体が全国大会への出場を決めた。

合同チームは計約30人で構成する。「群馬の知られざる魅力を世界に発信しよう」と、3月末から「国際」「医療・福祉」「観光」「歴史」の4グループに分かれて課題を洗い出す調査を実施。結果を共有しながら解決方法を考えてきた。

普段は一緒に過ごしていない他校の生徒との共同作

全国大会に出場するメンバーの前橋市立前橋高校の大沢里奈さん、星野杏さんと有賀早也香教諭(左から) 前橋市上細井町

②県立利根実業高校の生徒たちが植えたヒマワリ  
①県立利根実業高校の生徒たちが作った沼田城の模型=いずれも沼田市西倉内町



## ボランティア大会 合同チームで挑む

業には難しい面もあった。

市立前橋高校3年の大沢里奈さん(17)は初め、積極的に意見を言う私立学校の生徒に圧倒された。「相手の発表に何か意見を言う」と、傷つけるのではないかと思っていたが「なかつた」と振り返る。しかし、それでは相手を尊重していることにならないと気づき、改めた。「全国大会では、他の参加校の発表も楽しみ」

一方、将来はカウンセラーを目指す、同校3年の星野杏さん(17)は「ストレスのない社会」を作るための課題について調査してきた。「3校で取り組んできた強みを生かしていい発表にしたい」と意気込む。

全国大会は8月16、17両日、都内で開かれ、オンラインで配信される。県内からはほかにGKAから2団体、伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校から1団体が出場する。(星井麻紀)

# 和を強調 貴重な昭和初期建造

## 富岡・旧東国敬神道場



東国敬神道場が建設された当時は、全国で皇民化の教育施設が建設された。多くは戦後に取り壊され、社会教育館は貴重な現存遺構

で、そのうち6%(5千円)が「設計並監督費」に充てられた。設計監理の概念が導入された早い例として、貴重な史料という。

県の近代和風建築総合調査報告書によると、設計は「大江國風建築塾」が担当

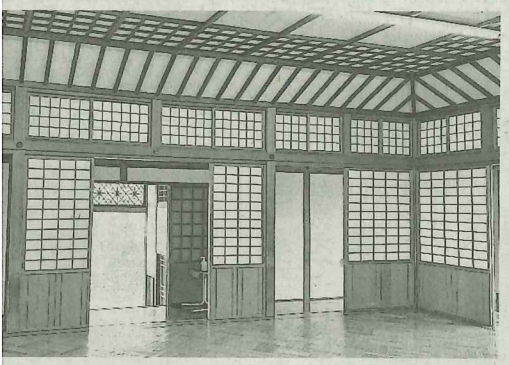
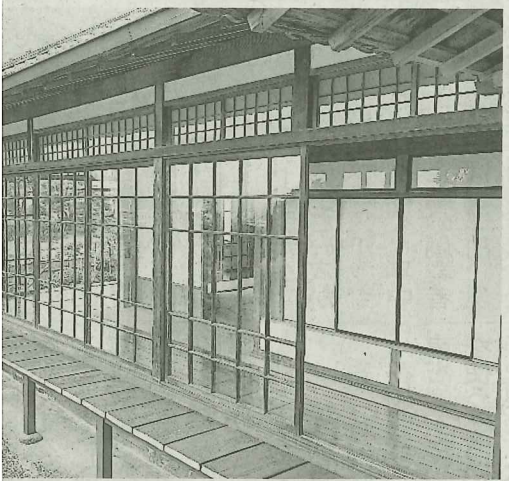
した。戦前に、神社建築の大家として知られた大江新太郎(1879〜1935)が晩年に設立した建築設計事務所だ。

大江は、日光東照宮の修理事業で陣頭指揮を執り、明治神宮造営や伊勢神宮の遷宮に携わった。代表作品は明治神宮宝物殿。国登録有形文化財の旧榎沢家住宅(富岡市、現割烹旅館ときわ荘)も大江國風建築塾が手がけたという。

社会教育館と隣之宮貫前神社は、ると、創建は安閑(501)年とされる。元禄11(1666)に徳川綱吉公により行われた。神社総門前には、燈籠(市指定重要)がある。高さ約4メートル、青銅製。慶応2(1866)年、養蚕や生糸生産を願って建立された。東京や横浜の生糸から合計約15000

富岡市の市街地を一望する丘陵にある富岡市社会教育館。木造平屋の建物が雁行型に配置され、数寄屋風の意匠、書院造りの部屋など、日本の伝統的な建築様式が採用されている。和風を強調した近代和風建築だ。庭園は手入れが行き届き、訪れた人の心を癒やす。

市によると、前身は「東国敬神道場」。昭和9(1934)年に旧陸軍の特別大演習で群馬県を訪れた昭



上信電鉄上州一ノ宮駅から徒歩約10分。I.Cから約10分。問い合わせは社会教(033)。